

# 和歌山だより

2025年 第185号  
(令和7年)



高野山 壇上伽藍（高野町）

壇上伽藍は、弘法大師空海が高野山を開山した際に最初に開拓した場所です。817年に弟子たちと共に建立し、完成には十数年から20年の歳月がかかりました。この場所は「弘法大師ゆかりの地」として信仰の中心となっており、密教の世界を表す胎蔵界曼荼羅を象徴しています。  
(写真提供：公益社団法人和歌山県観光連盟)

## CONTENT

- 1 知事メッセージ . . . . . p. 1
- 2 和歌山県政トピックス . . . . . p. 2 ~ 11
- 3 お知らせ . . . . . p. 12 ~ 19
- 4 ふるさと歳時記 . . . . . p. 20



## カイロスロケットの打ち上げ 失敗は成功の基

天候不順による延期が2回続いた後、待ちに待ったカイロス2号機の打ち上げ。5回目のチャレンジでは、1段目ロケットとフェアリング（衛星のカバー）の切り離しに成功しました。その後飛行中断措置が取られ、衛星の軌道投入というミッションは達成できませんでしたが、一歩も二歩も前進したと思います。「失敗は成功の基」。スペースワン社の皆さんがその原因を究明し、改善策を練って、次回成功することを期待します。日本では初の民間単独での挑戦。延期になっても失敗しても、ひたむきに挑戦するおとなの姿を見て、和歌山の子どもたちは学ぶところがあるはずです。

挑戦し続ければ、いずれ3号機、4号機と打ち上げが続いていきます。同社によれば、小型衛星の需要が旺盛なため、2030年代には年間30機程度の打ち上げが見込めるとのこと。そうなると、今は群馬県で組み立てて串本に運んでいます。地元で組み立てた方が安くなるそうです。

2030年代の半ばに、紀南がロケット産業の集積地になることは夢ではありません。紀伊半島一周高速道路が完成していれば、部品工場などのサプライチェーンも県内に広がります。

海外からの衛星技術者も大勢来ることになりますから、熊野白浜リゾート空港に大型旅客機の離着陸が可能になるよう2,000mの滑走路を2,500mに延伸しなければなりません。

滑走路延伸のための補助金の獲得には空港利用者を増やす必要があります。羽田線4便化に加え、国内線、国際線のチャーター便の増加のための施策を行いたいと思います。滑走路延伸に伴う技術的な課題については、国土交通省航空局の支援をお願いしています。紀南がロケット産業の基地になる頃に合わせて熊野白浜リゾート空港の滑走路延伸を実現することが私の目標です。地元の皆さんと相談しながら、一步一步進めていきます。

和歌山県知事 岸本周平



1/8 定例記者会見にて

## ●「令和6年度和歌山県文化表彰」表彰式を開催しました

県では、1964年から文化の向上発展に貢献した個人、団体に和歌山県文化表彰をお贈りしています。61回目を迎える今回は1月10日に表彰式を開催しました。

文化の向上発展に特に顕著な業績を示し、本県の誇りに値すると認められる方を表彰する文化賞を医学者の

まつざわ ゆうじ松澤佑次氏にお贈りしました。長年にわたり生活習慣病の原因究明と対策の研究を続けてこられた松澤氏は、1980年代に当時普及し始めたCTスキャンで全身の脂肪組織を分析し、内臓脂肪の蓄積が多くの生活習慣病や心血管病の原因であることを突き止めるとともに、そのメカニズム解明の過程で、糖尿病や動脈硬化などの発症を抑制する作用を持つ「アディポネクチン」を発見し、内臓脂肪の蓄積によるアディポネクチンの合成低下が生活習慣病の要因となることを明らかにされました。そして、「メタボリックシンドローム」の概念と腹囲を重視した診断基準を発表されました。

文化功労賞をお贈りした動物生態学者の堀道雄氏は、水生動物の左右性について独自の研究を展開され、更にハンミョウ類の生態の研究でも目覚ましい成果を挙げておられ、長きにわたり研究者として活躍するとともに、本県の希少生物種の保全と自然科学の向上に貢献されています。

文化奨励賞をお贈りしたヴァイオリン奏者の北島佳奈氏は、演奏会で活躍される一方で、普段音楽に触れることが少ない地域や施設等に出向いて演奏を披露するアウトリーチ活動に積極的に取り組まれるほか、和歌山キッズオーケストラを立ち上げ、後進の育成に取り組まれるなど、今後もより一層の活躍が期待されています。

同じく文化奨励賞をお贈りした画家の田中秀介氏は、目にした光景の中から気になった場所、違和感、なぜか目が離せなかったものなど、自身が感じた何かしらの驚きといったものを主題としながら、感情の揺らぎをも描写するという、絵画にとってその困難な課題を、様々な技法を用いて作品に結実させておられ、今後も更なる活躍が期待されています。

この度受賞された皆様の御功績を称え、今後ますますの御活躍を期待するとともに、県では、芸術文化の振興に全力で取り組んでいきます。



受賞者の皆さんと知事（前列）



## ●「令和6年度和歌山県名匠表彰」表彰式を開催しました

県では、1974年より、県内の伝統ある貴重な工芸品や生活用品の製作等の技能を守り、地域社会における技術文化の向上発展に功績のある方に和歌山県名匠表彰をお贈りしています。51回目を迎える今年度は、日本仏教の聖地である高野町にて永年にわたり位牌の製作に励まれている福形泰緒氏を表彰しました。

高野町に生まれた福形氏は、祖父美延氏、叔父崇男氏に師事、また高野町杖ヶ藪にて西浦春千代氏、宮本文夫氏の指導を仰ぎ、位牌製作の修業を積み、現在に至ります。



福形泰緒氏（号泰賢）

位牌製作は、江戸時代に杖ヶ藪で産業として始まりました。以来、職人によって脈々と受け継がれ、やがて「杖ヶ藪流」と呼ばれる流派に結実します。一方で、高野山の仏師らも位牌製作を手掛けるようになり、「高野流」と呼ばれる流派も誕生しました。両流派は、部材割付や部材名称などを異にする部分もあるものの、技術的に共通する点も多くあります。



総本山金剛峯寺座主位牌

福形氏は、西浦・宮本両氏に「杖ヶ藪流」、祖父であり師の美延氏より「高野流」の指導を受け、二つの流派の伝統技法を継承した国内で数少ない職人の一人です。高野位牌製作では、木地彫刻、下地、塗り、金箔という各工程を、専門の職人が分業して伝統の技術で仕上げているものですが、氏は製図から材料となる木材の選定、手作業による製材・成型、その後の彫刻に至るまで、その精緻な作業を一貫して一人で行っておられます。

また、一般家庭でお祀りする塗位牌の素地彫刻はもとより、国内外の寺院等に収める白木永代位牌（尊牌）などの製作・修復、更には文化財の修復を手掛けるなど幅広い技術を有しておられます。

そして、位牌製作技術の継承は伝統的に親方から弟子への口伝によることが多いなかで、図面や映像で記録して保存するなど、その伝統的な製作技法を確実に後世に残そうと取り組まれており、氏の功績は多大なものです。



文化財修復の様子

県では今後も、県内に伝わる素晴らしい技術文化を絶やさぬよう、顕彰事業をはじめ、様々な施策に取り組んでいきます。



●紀伊半島一周高速道路の実現へ一歩前進！一般国道42号新宮紀宝道路  
が開通しました！！

一般国道42号新宮紀宝道路（紀宝～新宮北間）は、三重県南牟婁郡紀宝町神内から和歌山県新宮市あけぼのに至る延長2.4kmの自動車専用道路で、2013年度の事業化、2017年度からの用地取得と工事着手を経て、2024年12月7日の15時に開通しました。

開通式典では、来賓として世耕弘成衆議院議員、鶴保庸介参議院議員など多数の関係者にも参加いただき、地域の皆さんをはじめ、これまで御尽力いただいた方々に対する感謝をお伝えしました。そして、田岡実千年新宮市長の万歳三唱により、参加者全員で紀伊半島一周高速道路の1日も早い完成に向けた決意を新たにするとともに、現地において晴れ渡った空の下、開通を祝ってテープカットやくす玉割りを行いました。

この度、本県と三重県が新たな道路で結ばれたことにより、地域の渋滞緩和はもとより相互のより一層の振興をはじめ、緊急医療活動の支援などに寄与することが期待されています。そして、和歌山城、白良浜、南紀熊野ジオパーク、熊野速玉大社をはじめ魅力的な観光資源を数多く有し、



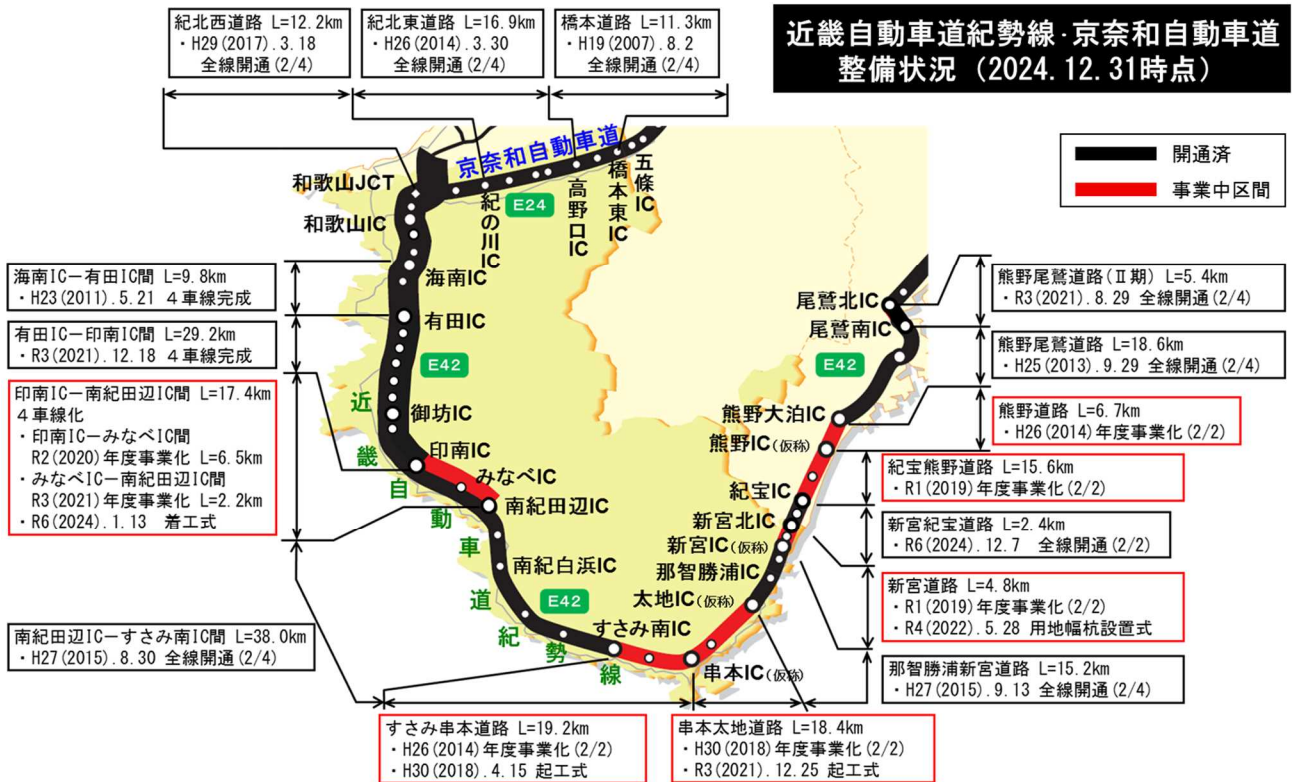
開通を祝うテープカットの様子

日本初の民間小型ロケット射場「スペースポート紀伊」（串本町）においてカイロスロケット打ち上げ成功に向けた挑戦が進められている本県にとって、新宮紀宝道路を含む近畿自動車道紀勢線の整備は、紀伊半島を介した中部圏と近畿圏の観光や経済交流を促進し、これによる半島地域全体の経済活動に大きな効果をもたらすものです。さらに、近い将来発生が懸念されている南海トラフ地震などの大規模災害への備えとして、半島地域の発展と安全・安心の前提となる「半島防災」の観点からも必要不可欠です。

県では、引き続き紀伊半島一周高速道路の早期完成に向け関係機関及び地元の皆さんと一丸となって取り組んでいきます。



知事挨拶の様子



●大阪・関西万博開催 100 日前イベントを開催しました

2025 年大阪・関西万博開催 100 日前のタイミングを迎えた、昨年 12 月 14 日、県民のみなさんの万博参加意欲を高め、機運醸成を図ることを目的として「未来へのかけ橋～将来世代に繋がる和歌山の未来を創造～」をテーマに大阪・関西万博開催 100 日前イベントを開催しました。当日は、開場前から列ができるほど、大勢の方に御来場いただきました。



みんなで「この地球の続きを」を歌い、会場が一体となりました

イベントでは、和歌山児童合唱団による合唱シアターピース（ステージのみでなく通路・客席を含む会場全体での演出のついた合唱）や万博和歌山ゾーン構築総合ディレクターの吉本英樹さんよしもとひできによる「関西パビリオン和歌山ゾーン和歌山百景－靈性の大地－」と題した講演のほか、銀河の森きのくに子ども舞台芸術劇団、りら創造芸術高等学校によるミュージカル「空海異聞録」が披露されました。そして、ミャクミャクも登場し、出演者、来場者みなで大阪・関西万博テーマソング「この地球の続きを」を大合唱して華やかにクライマックスを迎えました。

万博開催がいよいよ近づいてきました。県では、引き続き県内各地のイベントなどを通して万博 PR や情報発信を全力で行ってまいります。



## ● “聖地リゾート！和歌山” 東京レセプション 2024 を開催しました

県観光連盟は、本県の豊かな自然や様々な魅力を広く発信するため、多くのメディア関係者や旅行会社等約 300 名に参加いただき、観光プロモーション「“聖地リゾート！和歌山” 東京レセプション 2024」を開催しました。



出席者の皆さんと知事

直近の 2023 年観光客動態調査では、新型コロナウイルス感染症の 5 類感染症への移行などを背景に、観光入込客総数は約 31,941 千人（日帰り：約 27,019 千人、宿泊：約 4,922 千人泊）で、2022 年比では総数は約 2,803 千人増（日帰り：約 2,184 千人増、宿泊：約 619 千人泊増）となっています。また、「紀伊山地の霊場と参詣道」世界遺産登録 20 周年を迎えたこと、「大阪・関西万博」の開幕がいよいよ近づいてきたことなどを念頭にプロモーションを行いました。

第 1 部の観光プロモーション説明会では、金剛流合唱団（仏様の功德、弘法大師の教えを広く流布するため、全国各地で活動する真言青年僧の合唱団）による声明しょうみょうと金剛流御詠歌の披露のほか、熊野本宮大社宮司で昨年 2 月に神職の最高位である「特級」を授与された九鬼家隆くきいえたかさんと総本山金剛峯寺・高野山真言宗高野山執務公室長やぶほうげんの藪邦彦さんによる「紀伊山地の霊場と息づく日本人の心」と題した世界遺産スペシャル対談を行っていただき、高野山と熊野の精神性や奥深さを発信しました。



村井さんとのトークセッションの様子

第 2 部のレセプションでは、関西出身で本県にも何度もお越しいただいている俳優・タレントの村井美樹さんをゲストにお迎えし、九鬼さん、藪さん、そして知事で、歴史、自然、信仰などの観点から高野山と熊野の魅力についてトークセッションを展開し、和歌山への観光や移住定住をアピールしました。また県内市町村のブースを設置し、参加者との交流を深めました。

引き続き、様々な機会をとらえて、本県の多彩な魅力を広く発信していきます。

## ●アメリカ、ブラジル、アルゼンチンを訪問しました

岸本知事は、2024年10月15日から23日の日程でアメリカ（フロリダ州）、ブラジル（サンパウロ）、アルゼンチン（ブエノスアイレス）を訪問しました。

### （１）アメリカ（フロリダ州）訪問 10月15日（火）～17日（木）

#### フロリダ州州務長官表敬訪問

■日 時：10月16日（水）15時30分～16時00分

■場 所：フロリダ州州政府庁舎

コード・バードフロリダ州州務長官と会談し、明年姉妹県州提携30周年を迎えるにあたり、記念事業と次世代の交流の継続を念頭に「宇宙」をキーワードとした青少年交流の促進等について意見交換を行いました。

会談の様子



#### 和歌山県・フロリダ州姉妹県州提携30周年記念展示オープニング式典・レセプション

■日 時：10月16日（水）16時30分～18時00分

■場 所：フロリダ州州政府庁舎

和歌山県フロリダ州姉妹県州提携30周年記念展示オープニング式典に出席し、冒頭の挨拶で、青少年交流や文化交流に力を入れていくことを表明するとともに、和歌山県とフロリダ州との交流を長年にわたって御支援いただいている方々への感謝を述べました。

レセプションでは、和歌山県やフロリダ州にゆかりのある展示作品を鑑賞するとともに、招待客と歓談するなど交流を行いました。

（上）式典における挨拶の様子  
（下）レセプションにおける交流の様子



### （２）ブラジル（サンパウロ）訪問 10月17日（木）～20日（日）

#### 日伯文化連盟日本語学校視察

■日 時：10月18日（金）10時00分～11時30分

■場 所：日伯文化連盟日本語学校

日本とブラジルの文化交流の促進を目的とし、日本語教育などを行う日伯文化連盟日本語学校を視察しました。

知事は、和歌山県で働くことに興味を寄せる約120名の出席者を前に、外国人への日本語教育など、外国人労働者を共に働く仲間として受け入れるための本県の取組について説明を行いました。



大勢の出席者を前に本県の取組について説明しました



### 在サンパウロ日本国総領事表敬訪問

■日 時：10月18日（金）12時30分～14時00分

■場 所：ジャパンハウスサンパウロ

清水享在サンパウロ日本国総領事を表敬訪問し、ブラジル経済の中心であり、世界最大の日系社会を有するサンパウロと本県との連携について、意見交換を行いました。



清水享在がサンパウロ日本国総領事表敬訪問の様子

### JICA ブラジル事務所長との懇談及び本県出身協力隊員激励

■日 時：10月18日（金）14時30分～15時30分

■場 所：JICA ブラジル事務所

JICA ブラジル事務所を訪問し、宮崎明博所長及び和歌山県出身者で2024年1月にブラジルに派遣された尾寄凜太郎日系社会青年海外協力隊員（野球指導）と受入れ先のアニャン



JICA ブラジル事務所にて

ゲーラ日系クラブの幹部と懇談するとともに、尾寄隊員への激励を行いました。

### ブラジル日本移民史料館訪問

■日 時：10月19日（土）10時00分～11時00分

■場 所：ブラジル日本移民史料館

1978年にオープンした、ブラジル日本移民の歴史に関する資料を収蔵・展示しているブラジル日本移民史料館を訪問し、日系社会の歴史について理解を深めました。



ブラジル日本移民史料館にて

### ブラジル日本移民開拓先没者慰霊碑参拝

■日 時：10月19日（土）11時30分～12時00分

■場 所：イビラプエラ公園

1975年にブラジル各地において志半ばに亡くなった日本人移民慰霊のために建立された日本移民開拓先没者慰霊碑への献花を行い、困難を乗り越えて270万人に及ぶ日系人社会を作るに至った先人の御労苦に思いを馳せました。



献花の様子

## ブラジル和歌山県人会創立 70 周年記念式典・祝賀会

■日 時：10 月 19 日（土）17 時 00 分～21 時 00 分

■場 所：サンパウロ市内会場

ブラジル和歌山県人会創立 70 周年記念式典及び祝賀会に出席しました。式典には、和歌山県出身者及びその子孫、清水在サンパウロ日本国総領事はじめ現地日系団体幹部ら約 300 名が出席しました。



記念式典において挨拶する知事

式典中、知事は、和歌山県出身者で 100 歳長寿者 1 名、80 歳以上の長寿者 42



表彰の様子

名に対して表彰状を、和歌山県との交流に貢献した功労者 3 名に対して感謝状を贈呈しました。

また、日本・ブラジル両国の友好親善に貢献を行ったとして、サンパウロ市議会から知事に対して功労賞が贈られました。

式典に続いて開催された祝賀会では、本県出身者らとの交流を行いました。

(3) アルゼンチン（ブエノスアイレス）訪問 10 月 20 日（日）～21 日（月）

## 和歌山県人移住 110 周年記念式典・祝賀会

■日 時：10 月 20 日（日）16 時 30 分～20 時 00 分

■場 所：中城村人会会館

和歌山県人移住 110 周年記念式典及び祝賀会に出席しました。式典には、和歌山県出身者及びその子孫、山内在アルゼンチン日本国大使など約 100 名が出席しました。



出席者の皆さんと知事

知事は、和歌山県出身者で 80 歳

以上の長寿者 17 名に対して表彰状を、和歌山県との交流に貢献した功労者 12 名に対して感謝状を贈呈しました。

式典に続いて開催された祝賀会では、本県出身者らとの交流を行いました。



### 日亜学院視察

■日 時：10月21日（月）10時30分～12時00分

■場 所：日亜学院

日本語・英語・スペイン語の課程を有する政府公認校であるブエノスアイレス日亜学院を訪問しました。在アルゼンチン和歌山県人会役員でもある三井杉岡デリア文化センター長の案内で校内や授業の見学の後、高校生に対し本県への留学や本県での就職を呼びかけました。



日亜学院訪問の様子

### 在アルゼンチン日本国大使表敬訪問

■日 時：10月18日（金）15時30分～16時00分

■場 所：在アルゼンチン日本国大使館

山内弘志在アルゼンチン日本国大使を表敬訪問し、日系移民の活躍により親日国となっているアルゼンチンの政治経済情勢についてレクチャーを受けました。



山内弘志在アルゼンチン日本国大使表敬訪問の様子

## ●カイロスロケット2号機が打ち上がりました!!

昨年3月のカイロスロケット初号機の打ち上げとその5秒後の自律飛行中断から9ヶ月が経った12月18日の11時に、カイロスロケット2号機が打ち上がりました。

今回は1段目ロケットとフェアリング（衛星のカバー）の切り離しまで成功しましたが、その後飛行中断措置が取られました。

衛星の軌道投入というミッションは達成できませんでしたが、一歩前進。失敗しても挑戦し続ける大人の姿を見て、和歌山の子どもたちが学んでくれたら最高です。県ではスペースワン社の挑戦をこれからも全力で応援していきます。



©スペースポート紀伊周辺地域協議会

射点打上げの瞬間（スペースポート紀伊）



©スペースポート紀伊周辺地域協議会

宇宙を目指して飛行するカイロス2号機

## ●企業立地等の実績について（10月～12月）

本県の企業立地等の取組について、10月～12月の実績を御紹介します。

引き続き、本県のビジネス環境と生活環境の良さを多くの企業にPRし、本県への企業誘致を進めていきます。

### 株式会社がまかつ

「Gamakatsu」ブランドの釣り具で多くのファンを持つ、株式会社がまかつが、橋本市のあやの台北部用地に工場を増設するにあたり、進出協定を締結しました。

同社の製造する釣り竿は豊富なラインナップがあり、日本の製造業が誇る品質と性能の高さから国内外で多くのユーザーに愛されています。

新工場には、釣り竿製造部門が置かれ、釣り竿の生産体制の強化・効率化によって更なる成長を目指します。

#### ■企業概要

企業名：株式会社がまかつ

代表者：代表取締役 藤井 治幸氏

設立年月：1968年5月 / 資本金：5,000万円

売上高：51億4,300万円（2023年12月期）

従業員数：212名

事業内容：釣り鉤(ばり)、釣り竿を中心とした釣り具の製造販売

#### ■進出計画概要

進出場所：あやの台北部用地

敷地面積：8,531.34㎡

雇用予定：14名（うち新規地元雇用者9名）

業務内容：釣り竿の製造

操業時期：2027年操業開始予定



12/9 進出協定調印式にて  
(左から)知事、藤井代表取締役、平木橋本市長

### 株式会社エムアンドティーティー

沖縄県に本社を置く株式会社エムアンドティーティーが、白浜町に新オフィスを開設することとなりました。

同社は、2011年9月に設立されたIT企業で、ライブ配信アプリの運営やWEBデザイン、システム開発、ECサイトの運営事業等を実施しています。

今回新たに開設する和歌山事務所では、自社ITシステムの開発を行うとともに、ライブ配信アプリのカスタマーサポート事業を実施する予定です。これにより、県内でのIT人材の雇用創出が期待されます。

#### ■企業概要

企業名：株式会社エムアンドティーティー

代表者：代表取締役 井藤 三知子氏

設立：2011年9月30日 / 資本金：1,000万円

従業員数：23名（2024年9月末時点）

事業内容：ライブ配信アプリ「21LIVE」の運営、WEBデザインシステム開発、ECサイトの運営



#### ■進出概要

事業所名：株式会社エムアンドティーティー  
和歌山事務所

進出場所：Office Cloud 9 オフィス5（62.7㎡）  
（西牟婁郡白浜町才野1622-1086）

雇用予定：正社員12名（うち地元10名、転入2名）（3年間）

操業開始：2024年12月1日



11/14 進出協定調印式にて  
(左から)知事、井藤代表取締役、大江白浜町長



## ●令和6年度冬期企画展「たがやす」を開催中です

県立紀伊風土記の丘では、冬期企画展「たがやす」を開催しています。

紀の川流域では、江戸時代以降、畿内の商業経済の発達を背景に、農地で栽培する作物から得る収益を高めるため、夏場の水田稲作とともに、冬場には田んぼを畝に替えて、裏作として麦や菜種などを栽培する「二毛作」が盛んに行われました。



昭和40年代の牛耕の様子（和歌山市西庄）

農業が機械化する昭和40年代まで、田んぼや畝の耕作には牛が大活躍し、農家では牛を大事に飼育していました。田植え前には、牛にからすき犁を曳かせて田んぼで土を掘り起こし、馬まぐわ鋤を使って土のかたまりを細かく砕いて、水田をならしました。



長床犁（カラスキ）



車馬鋤（マイケンガ）

稲刈りが済み、畝作りの季節になると、田んぼを再び耕し、土を砕いて畝の畝を立て、畝土に筋を付けて種を蒔いたり、苗を植え付けたりしました。麦畝では冬場に中耕や除草も必要になるため、さまざまな器具を牛に曳かせて、効率よく畝を管理しました。また明治時代以降には、農作業の効率化を目的として、近代化した農耕具が全国的に普及してだけでなく、当地域にあった新しいかたちの農耕具も生み出されます。

本展示では、紀の川流域で行われたひと昔の二毛作の様子を、耕す道具を通して振り返り、牛とともにあった農家の仕事や農業の工夫について御紹介します。

皆さん是非お越しくください。

## ＜開催概要＞

会 期：2月24日（月・振替休日）まで

開館時間：9時～16時30分（入館は16時まで）

休 館 日：毎週月曜日

（月曜日が祝日又は休日の場合は次の平日）

入 館 料：一般190円（150円）・大学生90円（70円） \*（ ）内は20名以上の団体料金

\* 高校生以下、65歳以上の方、障害者手帳をお持ちの方、県内在学中の外国人留学生は無料（要証明書）

## ＜関連イベント＞ 展示講座「たがやす」（要予約）

日 時：2月9日（日）13時30分～15時30分

内 容：担当学芸員による展示解説

定 員：30名 参加費：入館料＋資料代100円

申込受付：1月24日（金）13時～開始

\* 予約は電話（073-471-6123）又はホームページの申込フォームから



## ●文化遺産・文化財ポータルサイト「わかやまの文化財」の御案内

県教育委員会では、2011年度から県文化財情報サイトを運営しており、昨年3月末には、県内の魅力ある文化財に一層親しんでいただけるよう、「わかやまの文化財」として大幅にリニューアルしました。



国宝36件（全国6位）、重要文化財399件（全国7位）をはじめ、数多くの貴重な文化財が伝わっている和歌山県ですが、こうした文化財を未来に引き継いでいくためには、世代を問わず、多くの方々の御理解と御協力が欠かせません。

このサイトでは、いつでも、どこからでも、県内の文化財を知り、学び、楽しむことができますので、是非御利用いただき、国民・県民の“宝”として守り伝えていく意義についても御理解いただければ幸いです。

### リニューアルの要点

#### ① 検索機能がもっと便利に

さまざまな条件（指定等区分・分類・時代・地域）を掛け合わせて検索できます。

また、フリーワード検索では、文化財の名称だけでなく、それぞれの解説文も含めて検索できますので、これまで知らなかった文化財との出会いがあるかもしれません。

#### 指定等区分からさがす

- 国宝 (7)
- 特別史跡名勝天然記念物 (3)
- 国指定等 (399)
- 県指定等 (335)
- 世界遺産 (7)
- 日本遺産 (66)
- 国指定 (220)
- 国指定 (2)
- 国登録 (132)
- 県指定 (335)

#### 分類からさがす

#### 時代からさがす

#### 地域からさがす

#### ② 文化財情報を見やすく、分かりやすく

よみがな・所在地・時代（建築・制作年代）などの基礎情報や解説文はもちろん、周辺の地図や360°画像（Googleストリートビュー）も見るすることができます。

#### ③ テーマ検索【新機能】

さまざまなテーマでお目当ての文化財をさがすことができます。飲食したり、宿泊したり……歴史ある貴重な文化財を贅沢に味わうためのヒントになるかもしれません。

#### ④ 文化財クイズ【新機能】

こどもから大人まで、文化財に馴染みのない人から知識に自信のある人まで、幅広い方々にお楽しみいただけるクイズコンテンツです。

全問正解で“文化財博士”を目指しましょう！



また、県教育委員会では、皆さんから頂いたふるさと和歌山応援寄附を活用させていただきながら、市町村や民間事業者が行う国・県指定文化財の保存修理・整備などの支援に取り組んでいますので、「わかやまの文化財の保護」に一層の御協力を賜りますようお願い申し上げます。

## ●わかやまジビエフェスタ 2024-2025 を開催中です

近年、猟師の高齢化や耕作放棄地の増加、暖冬などの影響により、イノシシやシカなどの野生鳥獣の生息域が拡大し、農作物への被害が全国的な問題となっています。このため県では、本格的に野生鳥獣の被害対策に取り組むとともに、2008年度から捕獲したイノシシやシカを地域の食資源として有効活用する「わかやまジビエ」を推進してきました。

また、より安全で安心なジビエの提供を目的として「わかやまジビエ処理施設衛生管理認証制度」を推進するとともに、全国に先駆けて「わかやまジビエ肉質等級制度」に取り組み、品質に見合った格付けと価格設定により、市場での信頼性確保を目指しています。

本県の豊かな山野で育まれた「わかやまジビエ」は、ギュッと身が引き締まっており、噛むごとにじんわりと深い旨味が口いっぱい広がるのが特徴で、まさに「山のごちそう」と呼ぶにふさわしい食材です。

この「わかやまジビエ」の素晴らしさを多くの方に知っていただこうと、2011年度から毎年「わかやまジビエフェスタ」を開催しています。14回目を迎える今回は、県内飲食店・宿泊施設 83店舗が参加しています。

シェフたちが腕をふるったジビエ料理を味わいに、和歌山に是非お越しください。



## &lt;わかやまジビエフェスタ 2024-2025&gt;

開催期間：2月28日（金）まで

\*店舗により提供期間は異なります。

開催場所：和歌山県内料理店（飲食店、ホテル等）83店舗

プレゼントキャンペーン：



↑専用HP QRコード↑

開催期間中に各参加店舗に設置しているQRコード又はハガキで御応募ください。5,000円分の「わかやまジビエお食事セット」が抽選で20名様に当たります。さらにWチャンスとして、公式Instagramアカウントフォロー&ジビエ料理の投稿（#わかやまジビエフェスタ2024応募）でペア宿泊券が2名様に当たります。





● 温泉で心も体もぽかぽかに！ 温泉スタンプラリーを開催中です！！

本県には、日本三古湯に数えられる『白浜温泉』や日本三美人の湯とうたわれる『龍神温泉』、そして約1800年前に発見された日本最古の温泉と言われ、日によっては7回も湯の色が変化するとされる天然温泉の岩風呂“つぼ湯”を有する「湯の峰温泉」や「川湯温泉」、「渡瀬温泉」が湧く『熊野本宮温泉郷』などがあり、コロナ禍を経て近年増加している海外観光客をはじめ、和歌山を訪れる多くの方々を魅了し続けています。まさに、本県は言わずと知れた温泉の宝庫です。

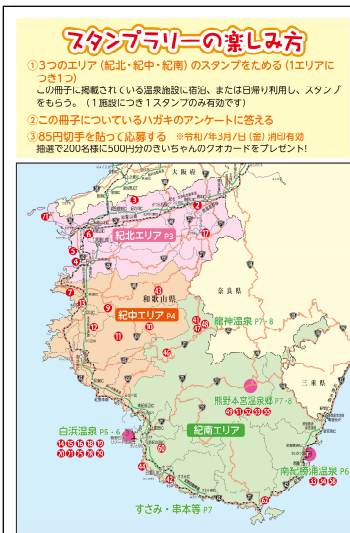
こうした中、県内における温泉資源の保護と適正な利用を推進し、温泉事業の発展と公共の福祉に寄与することを目的として1990年に設立された和歌山県温泉協会では、「寒い冬は温泉で心も体もぽかぽかになろう！」と2月28日まで「温泉スタンプラリー」を開催しています。

対象となる県内40箇所の温泉施設を宿泊又は日帰り入浴で利用すると、スタンプラリー冊子に付いている応募ハガキにスタンプを1つ押してもらえます。紀北・紀中・紀南の各エリアのスタンプ1つずつ計3つを集めて応募すると、500円分のクオカードが抽選で200名様に当たります。なお、スタンプラリーの冊子は、参加温泉施設、観光案内所、道の駅等に設置しています。

詳しくは、和歌山県温泉協会のホームページを御確認ください。この冬も是非、和歌山の温泉を満喫してください。



スタンプラリー冊子 (オレンジ色の表紙が目印です)



和歌山県温泉協会 HP QRコード⇒

**紀南エリア**

- 15 美肌の湯の宿 湯けむるの湯
- 19 湯とつぼ湯の宿 柳屋

**南紀勝浦温泉**

- 25 湯の湯
- 28 ホテルシーモア
- 29 HOTEL SHIRAHAMMAN
- 33 ホテルなげさや
- 34 ホテル浦島
- 58 温泉観光センター 丹敷の湯

スタンプラリー冊子掲載例 (県内各地の温泉を紹介しています)



## ●「企業版ふるさと納税」で和歌山県の取組を応援しませんか？

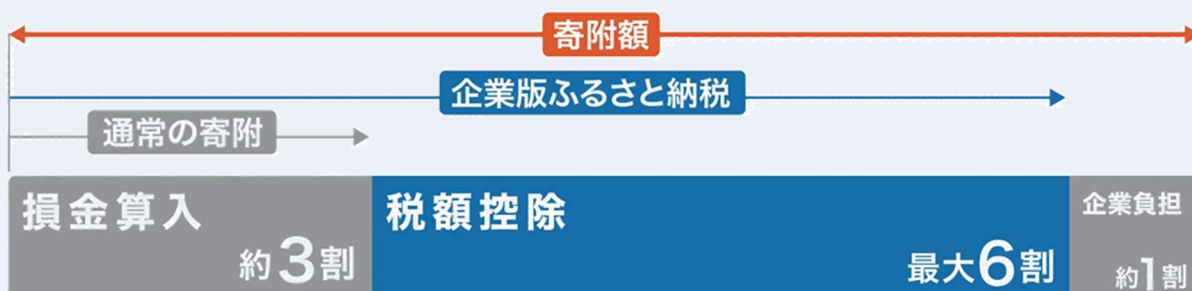
企業版ふるさと納税とは、企業の皆様が寄附を通じて地方公共団体の地方創生プロジェクトを応援した場合に、税制上の優遇措置が受けられるほか、様々なメリットがある仕組みです。

和歌山県では、この制度を活用し県の地方創生の取組を応援していただける企業の皆様を募集しています。

## 企業版ふるさと納税とは

- 「企業版ふるさと納税」は、国が認定した地域再生計画に位置付けられる**地方公共団体の「地方創生プロジェクト」**(\*)を応援するために企業様が寄附を行った場合に、法人関係税から税額控除する仕組みです。  
\*和歌山県の「地方創生プロジェクト」(2024年度)は次ページに掲載しています。
- 損金算入による軽減効果(寄附額の約3割)を含め、最大で**寄附額の約9割にあたる法人関係税が軽減**され、実質的な企業様の負担が約1割まで圧縮されます。

## 【税軽減のイメージ】



\*本制度を活用できるのは、**和歌山県外**に本社がある企業様のみです。

\*1回当たり**10万円以上**の寄附が対象です。

\*寄附を行うことの代償として経済的な利益を受けることは禁止されています。

## 企業様のメリットについて

- 社会貢献に取り組む企業としての**PR効果**が期待できます！
- 企業様と県との間で、**新たなパートナーシップ構築**の可能性が広がります！
- 県をはじめ、地方創生プロジェクトに関わる多様な主体との新たな関係構築の可能性が広がります！

詳細はこちらから

⇒<https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/020200/d00204504.html>

お問い合わせ先：和歌山県 地域振興部 地域政策局 地域振興課 地域支援班  
TEL：073-441-2426



## 2024年度和歌山県の主なプロジェクト

## 成長志向起業家の育成・支援による地方創生

## (概要)

「起業家が起業家を生み育てる」をコンセプトに、成功した起業家が次の起業家を育成・支援



## (事業年度)

2022年度～2024年度

大阪・関西万博を見据えた  
「新たな旅のスタイル」普及・促進

## (概要)

デジタル・アウトドアを主眼にした「新たな旅のスタイル」の普及・促進



## (事業年度)

2022年度～2024年度

ポストコロナ時代の若者就職支援による  
県内定着・移住促進

## (概要)

高卒就職者の県内定着や大学生・第二新卒者等のUターン就職による本県への移住を促進



## (事業年度)

2022年度～2024年度

## わかやま地域の賑わい総合対策プロジェクト

## (概要)

ワーケーションの受け入れ強化や、多様なニーズに応じた移住・定住に取り組む



## (事業年度)

2020年度～2024年度

最南端から最先端へ！民間ロケット発射場を  
核とした地方創生プロジェクト

## (概要)

ロケットの打上げ応援イベントの実施や企業と連携したプログラミング教育による高度人材の育成



## (事業年度)

2022年度～2024年度

明日へつなく持続可能な農林漁業の実現に  
向けた好循環創出プロジェクト

## (概要)

地域の魚介類、ジビエを地域で消費・利益を還元させる生産と消費の好循環を創出し、農林漁業と地域の持続可能性を高める



## (事業年度)

2023年度～2024年度

## 教育旅行向けほんまもん体験事業者等支援

## (概要)

体験型観光事業者の受入体制の強化、安全施策等に資する設備・備品の設置や県外学校等に対する誘客・持続可能な受入環境整備の促進



## (事業年度)

2023年度～2024年度

## 和歌山子どもまんなか社会推進プロジェクト

## (概要)

多子世帯向け保育料等の支援や子ども食堂への支援等を行い、子育てしやすい環境づくりやこどもの居場所づくりなど、こどもにやさしい社会づくりに取り組む



## (事業年度)

2023年度～2024年度

## 「空飛ぶクルマ」の運航実現に向けた取組

## (概要)

「空飛ぶクルマ」の運航実現に向け、離着陸場の適地調査や県内の社会受容性向上のために、県民や事業者に向けた情報発信、実証実験に取り組む



## (事業年度)

2023年度～2024年度

(\*)

## 大阪・関西万博教育旅行参加支援

## (概要)

和歌山県内の小中学生が、学校行事の一環として万博に訪れる機会を持てるよう、万博入場料及び地域ごとに差違のあるバス料金を同額の負担とすべく支援を行う



## (事業年度)

2024年度

<万博会場イメージ図>

(提供：公益社団法人2025年日本国際博覧会協会)

県アンテナショップ「わかやま紀州館」  
を活用した首都圏への県産品の魅力発信

## (概要)

首都圏における県産品の販路開拓や魅力発信の強化に取り組む



## (事業年度)

2024年度

## eスポーツわかやま推進プロジェクト

## (概要)

本県のeスポーツ人口の拡大を図るとともに、イベント等を通じた交流の場を提供することで、若者を中心とした地域文化の形成、地域活性化及びデジタル社会を担う人づくりを実現する



## (事業年度)

2024年度

(\*) 出典：経済産業省ウェブサイト ([https://www.meti.go.jp/policy/mono\\_info\\_service/mono/robot/181220uamroadmap.html](https://www.meti.go.jp/policy/mono_info_service/mono/robot/181220uamroadmap.html))



●ふるさと和歌山応援寄附（ふるさと納税）の御案内

ふるさと和歌山応援寄附は、「ふるさと和歌山を大切にしたい」、「和歌山を応援したい」という思いを具体化するための制度です。これまで多くの御寄附と力強い応援メッセージを頂いております。

県では、ふるさと和歌山応援寄附を「世界遺産『紀伊山地の霊場と参詣道』の保全や活用」や「子育て支援の充実」、「がん対策の充実」などの分野で活用させていただいております。

御寄附につきましては、下記のお問合せ・申込窓口に御連絡いただくか、ふるさと納税総合サイトを御利用ください。

また、和歌山県外にお住まいで13,000円以上の御寄附を頂いた方には、和歌山県優良県産品（プレミアム和歌山）として県が認定した商品等のうち、事業者の協力を得て選定した返礼品をお選びいただけます。和歌山県が誇る優良産品を是非御堪能ください。

ふるさと和歌山応援寄附についての詳細は、和歌山県のホームページ上の「ふるさと和歌山応援サイト」に掲載しています。

これからも、ふるさと和歌山応援寄附に御協力いただきますようお願い申し上げます。

ふるさと和歌山応援サイト(和歌山県へのふるさと納税)

「ふるさと」と聞いてみなさんが想像するものは何でしょう。  
和歌山県では、「元気な和歌山」を創造していくため、さまざまな施策の推進に取り組んでいます。  
ぜひ、皆様も寄附を通じてふるさと和歌山を応援してください。



ふるさと和歌山応援サイト

検索

各ポータルサイトのQRコードはこちら



ふるさとチョイス



ふるなび



ANAのふるさと納税



ふるラボ



JALふるさと納税



さとふる

★お問合せ・申込窓口★

〒640-8585

和歌山市小松原通一丁目1番地

総務部総務管理局税務課

担当 大亦、山中、水内、西浦

電話 073-441-2186（直通）

FAX 073-423-1192

E-mail: furusato-ouen@pref.wakayama.lg.jp

★お問合せ窓口★

〒102-0093

東京都千代田区平河町2-6-3

都道府県会館12階

和歌山県東京事務所

担当 松場

電話 03-5212-9057

FAX 03-5212-9059



## ●ふるさと和歌山応援寄附を活用して行う県の取組

- ①生涯スポーツ・文化の振興
- ②こどもたちの教育環境の充実【お礼の品なし】
- ③がん対策の充実
- ④犬・猫の殺処分ゼロを目指す活動への支援
- ⑤世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」の保全や活用
- ⑥南紀熊野ジオパークの推進
- ⑦地元企業への就職を促進する奨学金返還支援
- ⑧学校図書館や県立図書館の蔵書の充実
- ⑨わかやまの美しい海づくり
- ⑩わかやまの文化財の保護
- ⑪大切なふるさとの森を守り育てる
- ⑫わかやまのナショナル・トラスト
- ⑬わかやまの農林水産業の振興
- ⑭子育て支援の充実
- ⑮大阪・関西万博教育旅行参加支援



皆様からいただいた寄附金の成果につきましては、「ふるさと和歌山応援サイト」などで報告させていただきます。

### ■寄附金控除の手続きについて（ワンストップ特例申請の御案内）

地方公共団体への寄附（ふるさと納税）については、税制上の優遇措置があります。寄附金額のうち、自己負担額の2,000円を超える部分について、一定限度額まで、原則として所得税（復興特別所得税を含む）及び個人住民税から全額が控除されます。

寄附金控除を受けるには、所得税の確定申告又はふるさと納税ワンストップ特例制度の申請が必要です。

\*ワンストップ特例申請の場合は、所得税の軽減相当額を含め、個人住民税からまとめて軽減を受けることになります。

### 和歌山県では、ワンストップ特例申請の手続きを、より簡単・便利に行えるよう完全オンラインでのサービスを提供しています！

マイナンバーカードをお持ちの方は、紙のワンストップ特例申請書・確認書類の提出は不要となり、「自治体マイページ」から即座に申請を完結させることが可能です。

- \*申請にはデジタル庁提供のマイナポータルアプリが必要です。
- \*自治体マイページとは、ふるさと和歌山応援寄附に寄附したふるさと納税に関する情報を一元管理できる寄附者個人の専用ページです。

（自治体マイページは、株式会社シフトセブンコンサルティングが提供するサービスです。）



寄附金控除の手続きやオンラインワンストップ特例の詳細については、「ふるさと和歌山応援サイト」内「寄附金税制について」のページを御確認ください。



\*最新の情報、主催者等へお問い合わせください。



イベント情報（2月～3月）

開催日・時期	行事名	場所	問い合わせ先
2月6日	御燈祭り	神倉神社 (新宮市)	新宮市観光協会 0735-22-2840
2月8日	針供養	淡嶋神社 (和歌山市)	淡嶋神社 073-459-0043
2月上旬	水門祭	水門神社・大島漁港 (串本町)	南紀串本観光協会 0735-62-3171
2月中旬	粥占い神事	伊作田稻荷神社 (田辺市)	田辺観光協会 0739-26-9929
3月上旬	雛流し	淡嶋神社 (和歌山市)	淡嶋神社 073-459-0043
3月中旬	生石高原山焼き	生石高原 (紀美野町、有田川町)	紀美野町産業課 073-489-5901 有田川町商工観光課 0737-22-4506

自然・風物情報（2月～3月）

時期	自然・風物名	場所	問い合わせ先
2月上旬	梅林オープン	南部梅林 (みなべ町) 紀州石神田辺梅林 (田辺市)	梅の里観梅協会 0739-74-3464 紀州田辺観梅協会 0739-26-9931
2月中旬	シロウオ漁始まる	広川河口 (湯浅町)	湯浅町観光協会 0737-22-3133
3月上旬	和歌山城のこも外し	和歌山城公園 (和歌山市)	和歌山城整備企画課 073-435-1044
3月中旬	スターチス出荷最盛期	御坊市	JA 紀州 0738-22-2480
	クマノザクラ見頃	県道龍神中辺路線沿い	中辺路町観光協会 0739-64-1470



～編集後記～

平年より寒い日が多いこの冬ですが、みなさま、いかがお過ごしでしょうか。

この年末年始は、「奇跡の9連休」などと言われ、大いに注目されていました。「奇跡」と言っても、単なる暦上の並びの関係であって、数年に一度は必ずやってくることですし、別に奇跡でも何でもないと思いますが、いずれにしても、長期の休暇は嬉しいものです。みなさまも、例年よりゆったりとした新年を迎えられたことと思います。

かくいう私は、年末の30日にはお餅をついて掃除をし、31日には神棚を飾り、夜には紅白を見て、年が明けて元旦には、朝から雑煮を食べて初詣に行く、という、昭和のような田舎の年末年始を、今年も相も変わらず、過ごしました。

今では、田舎でも正月にお餅をつく家庭はそんなにありませんし、令和の時代に珍しいなとも言われたりするのですが、やはり正月はこうでなければ、と決め込んで、半分意地でも、これからもずっと、このような年末年始を過ごしていきたいと思っております。

さて、今年は、いよいよ大阪・関西万博の年です。4月13日の開幕に向けて、機運醸成のイベントも断続的に県内各所で行っております。関西パビリオン内の和歌山ゾーンのテーマは、「和歌山百景－靈性の大地－」。上質な和歌山にこだわり、和歌山の自然風景や神話、歴史等を表現した「映像」と美味しいだけでなくアートとも言える「食」を通じて、和歌山の魅力を国内外に発信します。

みなさま、是非とも、関西パビリオン和歌山ゾーンにいらしてください。

今回も最後までご覧いただき、ありがとうございました。

知事室 秘書課長 津井田 一陽



★「和歌山だより」Web版を和歌山県ホームページにアップしています。Web版ではカラーの紙面を楽しんでいただけますので、是非御覧ください。

和歌山だよりに対する御意見・御感想をお聞かせください。また、皆様がお持ちの和歌山に関する情報を御提供ください。今後、皆様のお声を紙面づくりに活かしていきたいと考えています。（下記のFAX（様式自由）、E-Mail等でお願います。）

■FAX 073-422-4032

■E-mail e0001003@pref.wakayama.lg.jp



県ホームページ  
QRコード



ふるさと和歌山  
応援サイト QRコード

2025年（令和7年） NO.185

和歌山県 秘書課

〒640-8585 和歌山県和歌山市小松原通1-1

TEL 073-441-2026

\*個人情報につきましては、「和歌山だより」  
の発行以外の目的には、使用いたしません。

